

## 【教育学研究院プロジェクト研究・第2回報告会】

# 若い教師が育つ場はどこに？

教職の困難はすべての教師に一樣にもたらされるのではない。世代によって直面する課題は異なる。今回は、若い世代の教師に焦点を当てたい。

文部科学省のデータによれば、条件付採用期間(新採後1年以内)における依願退職者数はこの15年間で5倍近くに増加している(0.26%から1.11%へ)。教師の仕事上の負荷が重くなっている一方で、教師間の関係性は希薄化していると言われる。こうした状況の中、採用されたばかりの若い教師たちはどんな課題や困難に立ち向かっているのか。道内初任教員調査と若い教師の声から考えてみたい。

現職教員の方々はもちろん、この問題に関心のある専門職や市民、学生・院生のみならず、みなさんもご参加ください。

日時：2013年5月18日(土) 午後2時～5時

場所：北海道大学 人文社会科学総合教育研究棟(W棟)410(無料)

## 報告

### (1) 若い教師が直面する課題 ——道内初任教員調査から

：梅津徹郎氏(北海道大学教育学研究院)

\* 北大を卒修して道内の中高校に赴任した初任教員たちへの聞き取り調査の結果を聞きます

### (2) 青年教師の現在 ——新採後3年間の経験

：富久尾崇氏(道内中学校教員・北大教育学院修了)

\* 本学院修士課程修了後、道内中学校教員になって3年間の教職生活を語ってもらいます

コメンテーター：畠山貴代志氏(道内小学校教員・北海道臨床教育学会副会長)

※終了後、懇親会を予定しています。

企画・司会：間宮正幸・横井敏郎(北海道大学)

主催：北海道大学大学院教育学研究院 (Tel 706-3292 間宮)